

会社説明資料

第2
創業期

株式会社アルプス技研 2020年12月期 第2四半期

－東京証券取引所市場第一部 証券コード：4641－

開発・設計の高度技術者集団

Copyright © 2020 Altech Corporation All Rights Reserved

『本日は2020年上期実績とその要因、第2創業期の当社の取り組み等について
具体的にご説明いたします。』

■当社グループのコロナウイルス感染症対策について

当社グループは新型コロナウイルスの感染拡大に対応するため、対策本部を設置し、オフピーク通勤や会議自粛（TV会議の活用）など、お客様、従業員の安全に配慮した対策を講じております。

1. お客様のご要請に応じた感染症対策

- 1) お客様先の状況に応じた柔軟な対応
- 2) 営業現場でのTV会議の活用
- 3) 社員の感染が疑われる場合の迅速な対応（本人への状況確認や出勤停止等）

2. 当社グループの感染症対策

- 1) マスク着用、咳エチケット、手洗い・うがい、消毒液の利用の徹底
- 2) 自社ビル内のフロア往来自粛、食堂利用の原則禁止
- 3) オフィス内に飛沫防止用アクリルボード、ビニールシート等を設置

3. 勤務形態・業務の変更

- 1) 社員の在宅勤務、休暇取得の推進、（必要時）オフピーク通勤の継続
- 2) イベント、懇親会、国内出張の自粛、海外出張の原則禁止
- 3) 社内外の会議等の自粛、TV会議の活用、入社式の延期、オンライン研修の実施

4. 体調不良時の対応

- 1) 本人が発熱した場合の出勤禁止
- 2) 同居家族が発熱した場合の出勤自粛

※2020年7月31日時点

Copyright © 2020 Altech Corporation All Rights Reserved

2

■当社グループの新型コロナウイルス感染症対策について

『まず始めに、新型コロナウイルス感染症対策について、現時点の当社グループの対策をご紹介します。』

これらの対策は政府方針等を考慮し、流行の収束が見込まれるまで継続いたします。当社グループは、今後も感染症拡大防止に向け迅速に対応してまいりますので何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。』

～目次～

- | | | |
|----------|-------------------------------|--------|
| ① | 2020年2Q 決算概況 | …P.4～ |
| ② | 新規グループ会社、
関連会社のご紹介 | …P.12～ |
| ③ | 2020年度 施策 | …P.14～ |
| ④ | 2020年度 業績・配当予想 | …P.19～ |
| ⑤ | 新中期経営計画 | …P.21～ |
| ⑥ | サステナビリティ・ESG | …P.24～ |

『こちらは、本日まで説明させて頂く内容です。』



■外部環境

『2020年上期業績の背景となった外部環境について、ご説明いたします。

新型コロナウイルス感染症の影響が継続しておりますが、コロナ禍でも主要企業の研究開発投資は維持、または積み増ししており、引き続き開発・設計業務に対する需要は堅調に推移しています。この背景である「2020年上期 外部環境のポイント」をご説明いたします。』

①製造業界:輸出動向は、新型コロナウイルス感染症の影響で急速に減少しており、足元では感染症が再拡大しているため状況を注視する必要がある。

②業界動向:5Gやネットワーク関連の需要が拡大している。

また次世代車向けのR&D投資は大手中心に維持されているものの、開発スピードに鈍化が見られた。

③人材獲得競争 :オンライン説明会や面接等、新たな採用手法が推進されている。

例年は夏以降大手メーカーの採用が落ち着く頃だが、今年はメーカー採用が長期化しており、採用競争が激化している。

■ 2020年第2四半期 決算概況

- ・連結/販管費抑制、雇調金収入
- ・個別/人数・単価UPで堅調な伸び

(単位:百万円)

【連結】	2019年12月期 第2四半期	2020年12月期 第2四半期	増減率
売上高	16,589	17,483	5.4%
営業利益	1,644	1,785	8.6%
経常利益	1,692	2,139	26.4%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,206	1,426	18.3%

【個別】	2019年12月期 第2四半期	2020年12月期 第2四半期	増減率
売上高	14,314	14,896	4.1%
営業利益	1,549	1,663	7.3%
経常利益	1,679	2,036	21.2%
四半期純利益	1,235	1,418	14.8%

Copyright © 2020 Altech Corporation All Rights Reserved

5

■ 2020年上期 決算概況

『数字はご覧の通りです。』

『連結では、社員数が順調に増加し、売上高は「前年比+5.4%」、四半期純利益は「前年比+18.3%」の増加率となりました。』

『個別 四半期純利益は 単価が着実に向上、業績に寄与したものの、新型コロナウイルス感染症の影響で工数が減少したため、「前年比+4.1%」の増加率となりました。』

- ・営業利益率は10.21%で着地
- ・コロナ影響で販管費△9%

(単位：百万円)			
【連結】	2019年12月期 第2四半期	2020年12月期 第2四半期	増減率
売上高	16,589	17,483	5.4%
売上原価	12,291	13,274	8.0%
売上総利益	4,297	4,209	-2.1%
販管費	2,653	2,423	-8.7%
○売上高販管費率	15.99%	13.86%	-2.13%
営業利益	1,644	1,785	8.6%
○売上高営業利益率	9.91%	10.21%	0.30%
営業外収益	72	390	441.6%
営業外費用	23	36	51.8%
経常利益	1,692	2,139	26.4%
特別利益	100	100	0.1%
特別損失	1	79	4853.1%
税引前四半期純利益	1,790	2,160	20.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,206	1,426	18.3%
○売上高四半期純利益率	7.27%	8.16%	0.89%

主な売上・利益増加要因

- ① 高稼働率の維持
- ② 単価の上昇
(契約単価・実単価共に)
- ③ 稼働人数の増加
- ④ 社員数の増加
- ⑤ 販管費の抑制
(集合型研修、旅費削減等)
- ⑥ コロナに伴う雇用調整
助成金収入(営業外収益)

主なコスト増加要因

<持続性：個別>

- ① 原価増
⇒技術者数増加のため

<一過性：個別>

- ② 投資有価証券評価損発生
⇒感染症拡大による株価
下落のため

Copyright © 2020 Altech Corporation All Rights Reserved

6

■2020年上期連結

『こちらは連結業績の詳細です。連結 営業利益率は、10.21% で着地しました。その背景となる主要指標は、次のスライドで詳しくご説明いたします。』

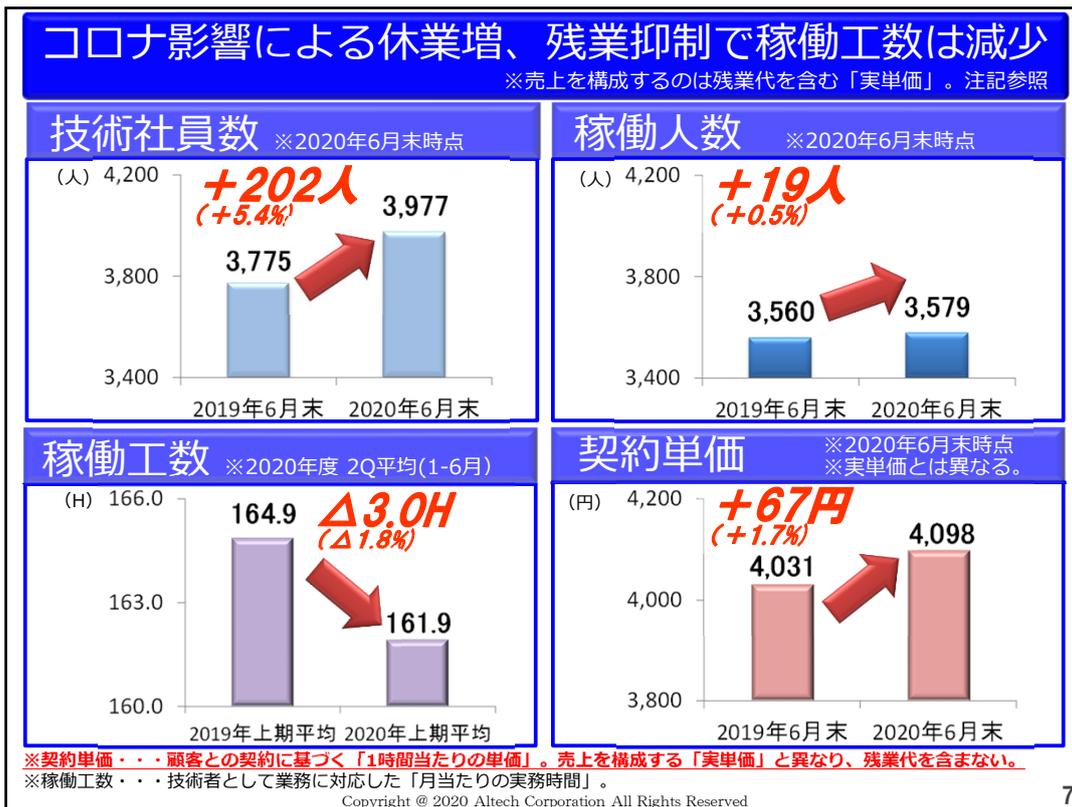
<好調要因> 連結売上の大半を占める技術者派遣が牽引し、好調に推移。

1. コスト増加要因

- ① 原価の増加 (技術者数増加+約715百万円)
- ② 特別損失の増加 (投資有価証券評価損+約78百万円)

2. コスト減少要因

- ① 販管費の抑制 (募集費△約80百万円、旅費交通費△約50百万円、教育研修費△約57百万円)



■主要指標の推移

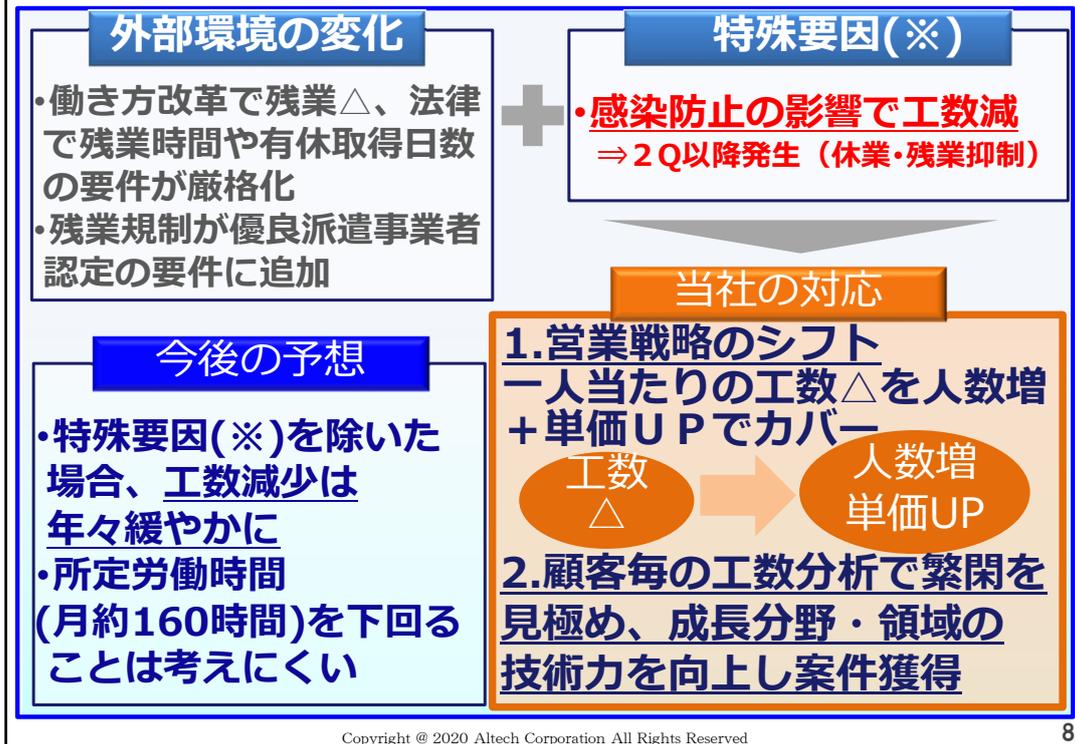
『当社の業績に大きく影響する 3つのKPIの推移についてご説明いたします。』

- ①当社グループの業績をけん引する「技術者派遣」の主要指標は、工数を除き、着実に向上している。
- ②特に、「技術者数」は「約5%程度」伸びた。「稼働人数」は、新型コロナウイルス感染症の影響により既存技術者の一部休業が発生したほか、新入社員の稼働人数が伸びず、全体で「約0.5%」微増した。
- ③「契約単価」は 前年比で 67円上昇した。お客様から頂く実際の単価である実単価は、17年から4千円を超える水準で堅調に推移している。
- ④技術者が派遣先で働いた時間を表す「稼働工数」は、減少した。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策による在宅勤務の増加、景況悪化による残業抑制や、5月の大型連休に伴う有休取得増加の影響もあり、残業時間が減少したもの。技術者の需要が多い顧客を開拓する努力をしている。

※稼働人数、稼働工数の前年実績は、アグリを除く数値に修正しております。

『稼働工数動向と営業については、次のスライドで詳しくご説明いたします。』

■稼働工数動向と営業について



■稼働工数動向と営業について

『稼働工数動向と営業について、詳しくご説明いたします。』

こちらでは、働き方改革、感染症拡大防止の影響による残業時間の減少と、顧客動向の変化、そしてその変化に対する当社の対応をお伝えいたします。』

『外部環境の変化は、ご覧の通りです。』

・2Q特殊要因『新型コロナウイルス感染症防止に伴う一部技術者の休業発生、残業抑制の影響が大きかったです。』

↓

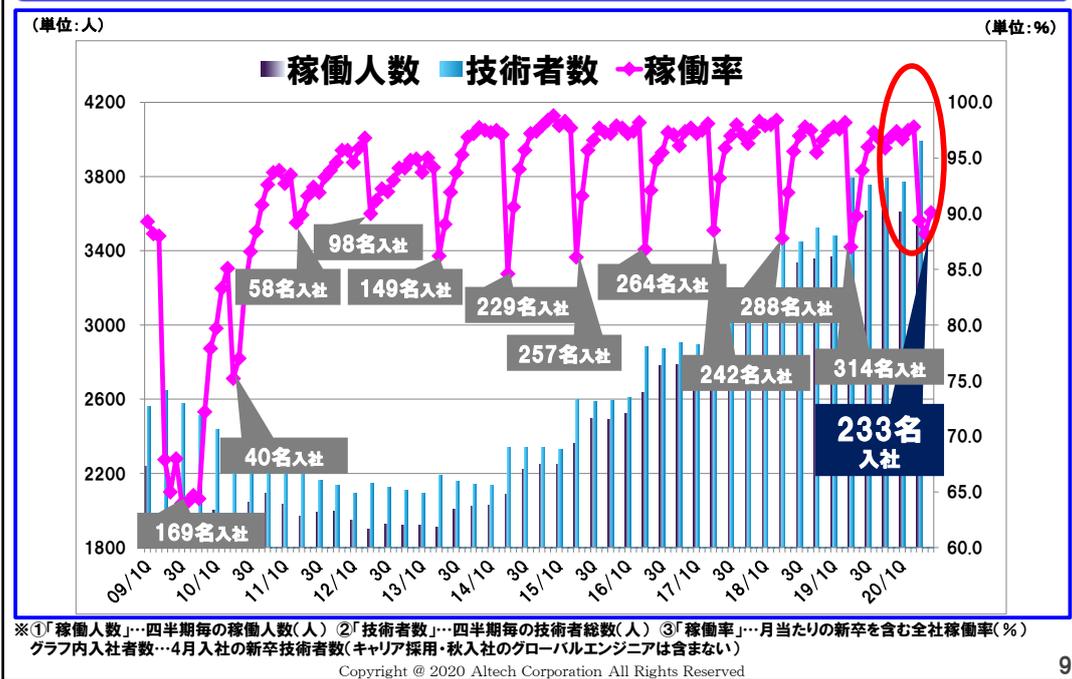
<今後の当社予想>

- ①特殊要因を除けば、工数減少は年々緩やかなペースとなっていくと予想される。
- ②現在公表している月当たり稼働工数において、所定労働時間の月約160時間を下回る下落は今後も考えにくい状況である。

<当社の対応>

- ①一人当たりの工数減少を、人数の増加及び単価アップでカバーする。
- ②顧客毎の工数分析で繁閑状況を見極め、成長分野・成長領域の技術者を育成し、案件を獲得する。

- ・人材の質をさらに重視した採用を実施
- ・稼働率は一時下振れるも徐々に回復傾向



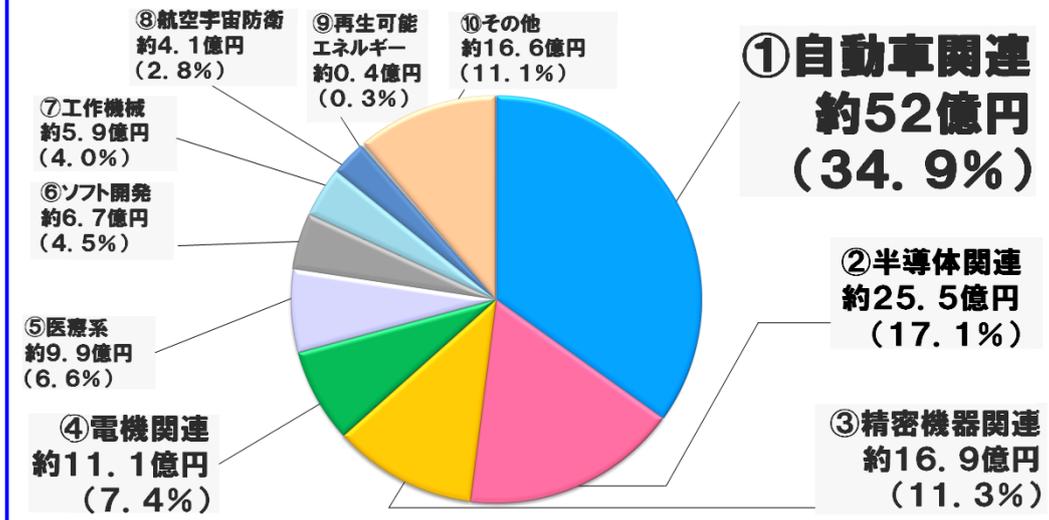
■稼働率推移

『人材の質をさらに重視した採用活動を実施した結果、2020年4月の新卒入社者数は「233名」となりました。

稼働率は新型コロナウイルス感染症の影響による新卒稼働決定の遅れにより一時下振れたものの、徐々に回復傾向となっております。』

- ・コロナ禍で半導体/医療系/ソフト開発が増加
- ・自動車はシェア・金額共に減少⇒好調分野にシフト

業種別売上高(2020年第2四半期)※個別・上位順



※上記グラフは最終製品に紐付く分類。【例】技術分野:電機、最終製品:EVの場合⇒「①自動車関連」に分類

Copyright © 2020 Altech Corporation All Rights Reserved

10

■業種別売上高

『売上高の業種別シェアを「10分類化」したグラフです。コロナ禍で半導体、医療系、ソフト開発が増加しています。自動車がシェア、金額共に減少した分、半導体や医療系、ソフト開発等の好調分野にシフトしています。』

5G需要増加により半導体関連ニーズが堅調

売上上位10社

2018年度 通期	2019年度 通期	2020年度 第2四半期
三菱電機	三菱電機	東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ
東芝メモリ	キオクシア(旧東芝メモリ)	三菱電機
東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ	東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ	キオクシア(旧東芝メモリ)
アイシン・エイ・ダブリュ	アイシン・エイ・ダブリュ	ソニーセミコンダクタ
ソニーセミコンダクタ	日立オートモティブシステムズ	東京エレクトロン宮城
キヤノン	ソニーセミコンダクタ	ソニーLSIデザイン
東京エレクトロン宮城	東京エレクトロン宮城	デンソーテン
オートリブ	キヤノン	ニコン
日野自動車	本田技術研究所	日野自動車
日立オートモティブシステムズ	デンソーテン	三菱重工業
上位10社比率 20.0%	上位10社比率 19.6%	上位10社比率 18.8%

※東芝グループの表記・・・東芝メモリ様は2019年通期以降、「キオクシア」様と表示

Copyright © 2020 Altech Corporation All Rights Reserved

11

■売上上位10社

『①特定企業への依存リスクを低減させるべく、顧客構成の裾野を年々拡大しています。』

『②リーマンショックのような事態になっても、1社依存による業績低迷は避けられるよう対策しています。』

新規グループ会社・関連会社のご紹介

(株)デジタル・スパイス (7/1付グループ会社)



株式会社 デジタル・スパイス

■会社概要

商号 株式会社デジタル・スパイス
所在地 長野県諏訪市
設立 2001年7月10日

■事業内容

- ・ソフトウェア開発、設計・製造
- ・技術者派遣

■開発実績

- ・スティックインサーター
(アイスクリーム用)

- ・半導体産業向け工場自動化ソフトウェア開発
- ・画像検査、処理システム
- ・宇宙小型探査機の開発等

(株)DONKEY (関連会社)



↑小型多機能型農業ロボット「DONKEY」

■会社概要

商号 株式会社DONKEY
所在地 神奈川県相模原市
設立 2020年3月19日

■事業内容

- ・自律多機能型ロボットの研究開発～販売
- ・データ活用サービスの提供

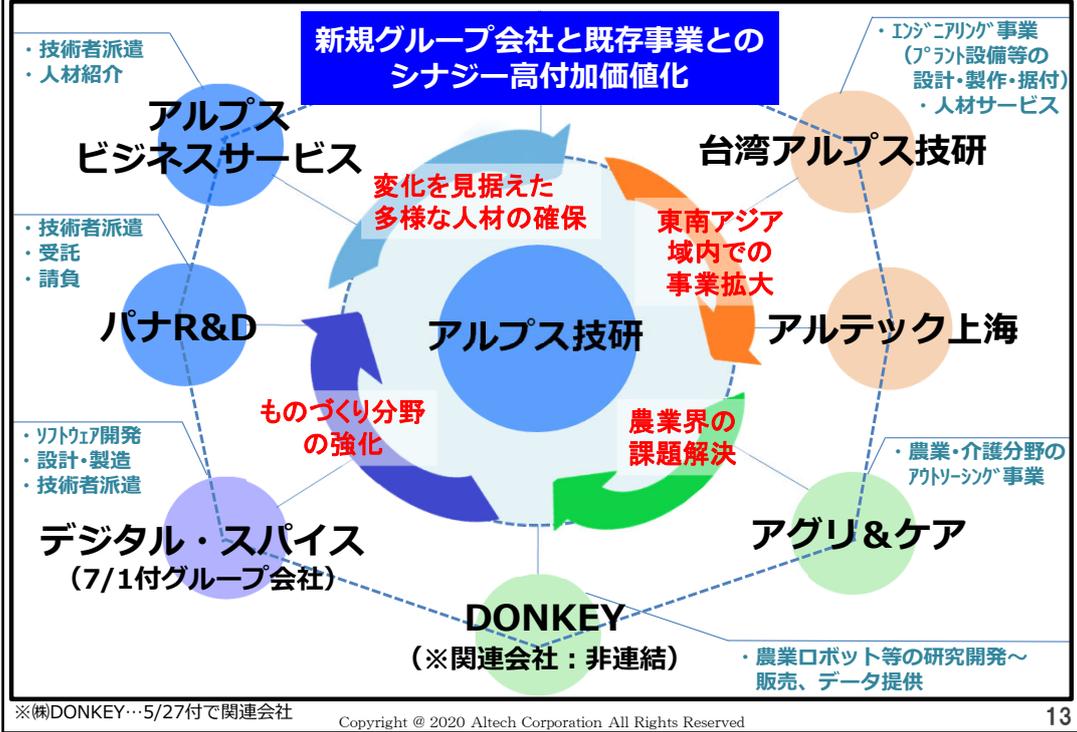
■新規グループ会社、関連会社のご紹介

『7月1日付で新たに(株)デジタル・スパイスがグループ会社(連結子会社)に加わりました。約20年の長きにわたり、機械、電気・電子、ソフトウェアの受託業務、技術者派遣を手掛け、「信州から世界へ」をキーワードとし、デジタル技術をコアに設計開発の一連の業務に対応してまいりました。近年は、宇宙の小型探査機(はやぶさ)の開発にも協力するなど、高い技術力を持つプロ集団として、お客様のものづくりを支援しております。』

また、自律多機能型ロボットの研究開発～販売を手掛ける(株)DONKEYを3月に設立し、5月に関連会社となりました。

こちらは2017年11月に(株)日本総合研究所や慶應義塾大学等が実施していた次世代農業ロボット開発コンソーシアムに当社が参画し、事業化したものです。同社は労働力不足や収益力低下が課題の国内農業において、これらの課題を解決する小型の自律多機能型ロボット及び関連サービスの提供を行うことで、労働負担の軽減と効率化を実現してまいります。』

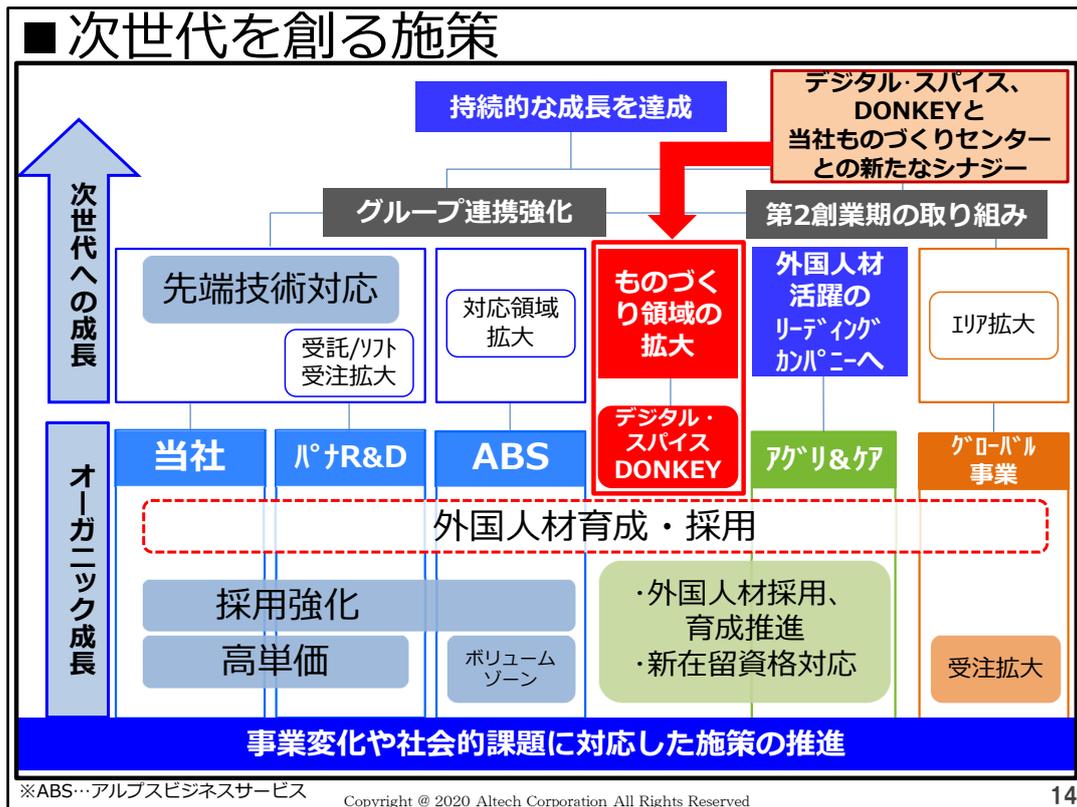
■新たなグループ体制（くもの巣型ネットワーク組織）



■新たなグループ体制（くもの巣型ネットワーク組織）

『7月1日以降の新たなグループ体制をご紹介します。

ご覧のように、新規グループ会社と既存事業とのシナジーの高付加価値化を目指してまいります。』



■次世代を創る施策

『当社グループの「次世代を創る施策」についてご紹介します。』

『今回、新たに(株)デジタル・スパイス、(株)DONKEYが加わったことで、当社ものづくりセンターとの新たなシナジーを創出し、ものづくり領域の拡大を図ってまいります。』

『「次世代を創る施策」ということで、今まで進めてきた本業の技術者派遣を通じたオーガニックな成長を継続し、さらに先端技術領域の教育と営業へのシフトを進めています。』

・2000年前半から外国人技術者の育成・採用に注力し、そのノウハウを農業分野にも展開してきております。

・外国人材の活躍という点で長い歴史があるため、グループ連携を強化し、「外国人材活躍のリーディングカンパニー」を目指してこの領域を拡大していきたいと考えております。』

■ 2020年 次世代を創る施策(個別)

成長を支える3本柱[採用・教育・営業]の好循環

1. 採用

- ①環境変化を捉えた早期採用の強化
- ②社員紹介強化・質重視のポ-ト`選考
- ③多様性に富んだ人材の確保

達成目標

- ・'21新卒280名採用
- ・'20キャリア130名採用

2. 教育

- ①ミドル人材強化/育てる組織の構築
- ②先端技術・成長分野の高度人材育成
- ③グローバル人材の教育体制定着

- ・次代の人材育成、
拡大成長実現に
向けた組織の構築

3. 営業

- ①成長企業・分野との取引拡大
- ②新入社員の即戦力強化
- ③高付加価値化による高単価の実現

- ・成長分野拡大による
高単価の達成
- ・CSレベル向上

Copyright © 2020 Altech Corporation All Rights Reserved

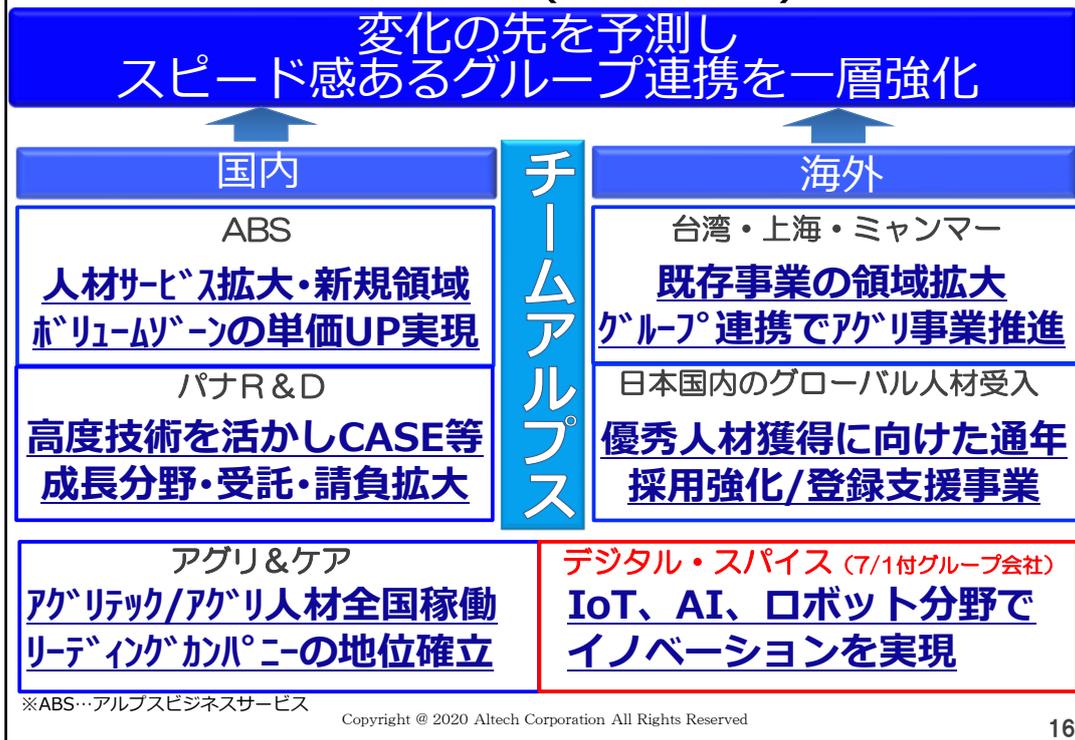
15

■ 2020年度 個別 次世代を創る施策

『2020年度は、ご覧の内容の施策に取り組みます。』

- ・「採用」 早期採用、社員紹介強化、多様性に富んだ人材の確保
- ・「教育」 ミドル人材強化、先端技術・成長分野の高度人材育成
- ・「営業」 成長企業・分野との取引拡大、高付加価値化による高単価の実現 など

■ 2020年度 通期施策(グループ)



Copyright © 2020 Altech Corporation All Rights Reserved

16

■ 2020年度 連結 施策

『グループ各社においても、グループ連携を一層強化し、各課題に取り組みます。』

・ABS

人材サービス拡大・新規領域、ボリュームゾーンの単価アップ実現

・パナR&D

高度技術を活かしCASE等の成長分野・受託・請負を拡大

・アグリ&ケア

新設在留資格を活用し、東南アジアの採用人数増加、外国人材活躍推進の
 リーディングカンパニーとして地位を確立

・デジタル・スパイス(7/1付グループ会社 ※連結子会社)

高度な技術力を活かし、IoT、AI、ロボット分野でイノベーションを実現

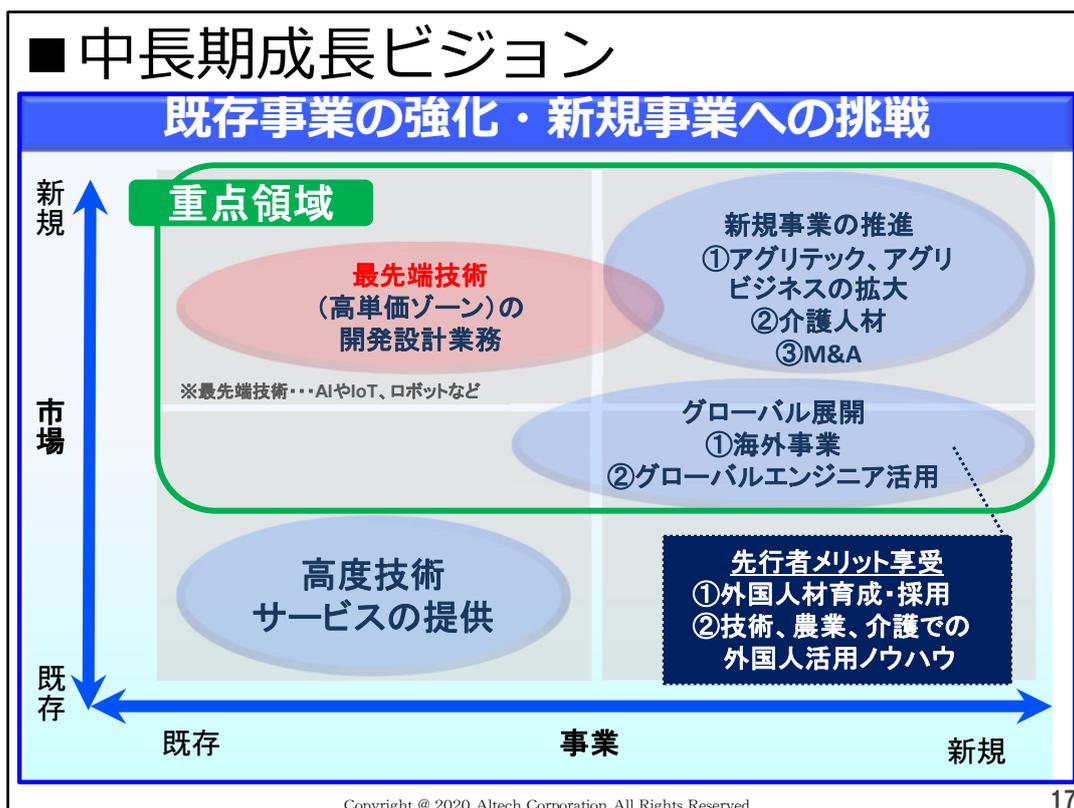
・海外

台湾・上海…既存事業の領域拡大

ミャンマー …グループ連携でアグリ事業推進

・グローバル人材受入

優秀人材獲得に向けた通年採用の強化、登録支援事業



■ 中長期成長ビジョン

『当社が積極的に取り組んでいる事業領域を、「中長期成長ビジョン」として、こちらのマトリクスでご紹介いたします。

・既存事業(高度技術サービスの提供)の他、中長期的にAI、IoT、ロボットなどの最先端技術の高単価ゾーンを拡大いたします。

AI人材の育成には特に注力しております。

・新規事業では、㈱アグリ&ケア設立や㈱DONKEYの関連会社化など、アグリテック・アグリビジネスの拡大を図ってまいります。

介護人材についてはミャンマー・ヤンゴン支店やアルプス技研高等職業訓練大学校で人材育成を進めております。

・グローバル展開については、海外の既存事業(台湾・上海における各種プラント設備機器、工場設備機器の設計・製作・据付及びメンテナンス、付随する人材サービス)の他、当社が長年取り組んでおりますグローバルエンジニアの活用をさらに推進いたします。

特に外国人材活用ノウハウを有する当社グループでは、技術だけではなく農業、介護分野など先駆的に外国人材育成・採用に取り組んでおり、この領域において先行者メリットを享受できると考えております。』

■ 全国で着実にアグリテック・アグリ人材派遣推進

コロナ禍で農業人材が不足し、ニーズがさらに増加

アグリ事業取引実績（抜粋）



●2019年9月 当社が人材派遣会社で全国初の「特定技能1号」取得
アグリテック・アグリに対応可能な外国人材を東南アジアから幅広く採用・育成

Copyright © 2020 Altech Corporation All Rights Reserved

18

■アグリテック・アグリ(就農)人材活用

『 当社は2018年4月に、アグリ・介護関連の新会社を設立しました。』

同年秋以降、愛知県をはじめとする4つの国家戦略特区の農業支援外国人受入事業で、外国人材を派遣することができる特定機関認定を受けました。

2019年には、農業分野で「特定技能1号」を取得し、中国・ミャンマー・ベトナムのアグリテック・アグリ(就農)人材を全国規模で様々な業務に派遣しております。

また今年に入りコロナ禍で国内の農業人材が不足しているため、アグリテック・アグリ(就農)人材に対するニーズがさらに増加している状況です。

グループ連携により、創業以来培ってきた採用・育成ノウハウを活かし、「農業・介護分野」における質の高い人材サービスを提供いたします。』

■業績予想

連結：最高業績更新へ

(単位：百万円)

【連結】	実績					業績予想	
	19年度通期	2020年度上期				2020年度通期	
	実績	期初予想 (20年2月)	実績	前年同期比	期初予想比	金額	前年同期比
売上高	36,371	18,120	17,483	5.4%	-3.5%	38,320	5.4%
営業利益	4,014	1,780	1,785	8.6%	0.3%	4,270	6.4%
経常利益	4,098	1,790	2,139	26.4%	19.5%	4,270	4.2%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,908	1,210	1,426	18.3%	17.9%	2,910	0.1%

【個別】	実績					業績予想	
	19年度通期	2020年度上期				2020年度通期	
	実績	期初予想 (20年2月)	実績	前年同期比	期初予想比	金額	前年同期比
売上高	29,684	15,300	14,896	4.1%	-2.6%	31,630	6.6%
営業利益	3,579	1,630	1,663	7.3%	2.0%	3,710	3.7%
経常利益	3,755	1,800	2,036	21.2%	13.1%	3,920	4.4%
四半期純利益	2,715	1,250	1,418	14.8%	13.4%	2,730	0.6%

●利益予想：先端技術や次世代車等、顧客ニーズは堅調のため、本業は底堅く推移する見込み。一方、景気の減速懸念を踏まえ、工数については抑制傾向で想定。

Copyright © 2020 Altech Corporation All Rights Reserved

19

■連結 業績予想

『2020年業績予想はご覧の通りです。2019年の最高業績をさらに更新すべく、連結売上高383億円の達成を目指します。』

■個別 業績予想

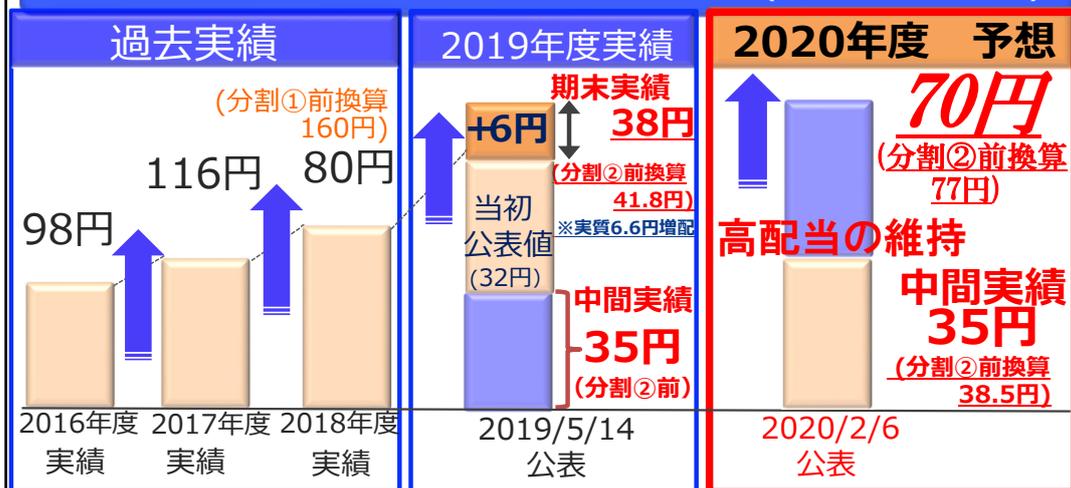
『個別業績は派遣に対する需要が旺盛のため、底堅く推移しております。

人手不足の影響で、メーカー様が自社の正社員を確保しにくいと、派遣エンジニアにご要請を頂くケースがある一方、働き方改革に伴う残業抑制によって工数減少も発生しており、引き続き動向を注視してまいります。』

■ 配当予想（2020年度年間配当金）

【配当の基本方針】

- ・連結ベースでの配当性向50%を基本とする
- ・中間配当金は年間配当金の50%を目処とする
- ・業績にかかわらず年間配当10円を維持する(安定配当の見地)



分割①・・・2018年1月1日を効力発生日として、1株を2株とする株式分割を実施
 分割②・・・2019年7月1日を効力発生日として、1株を1.1株とする株式分割を実施

Copyright © 2020 Altech Corporation All Rights Reserved

20

■ 配当予想

『「配当予想」についてご説明いたします。』

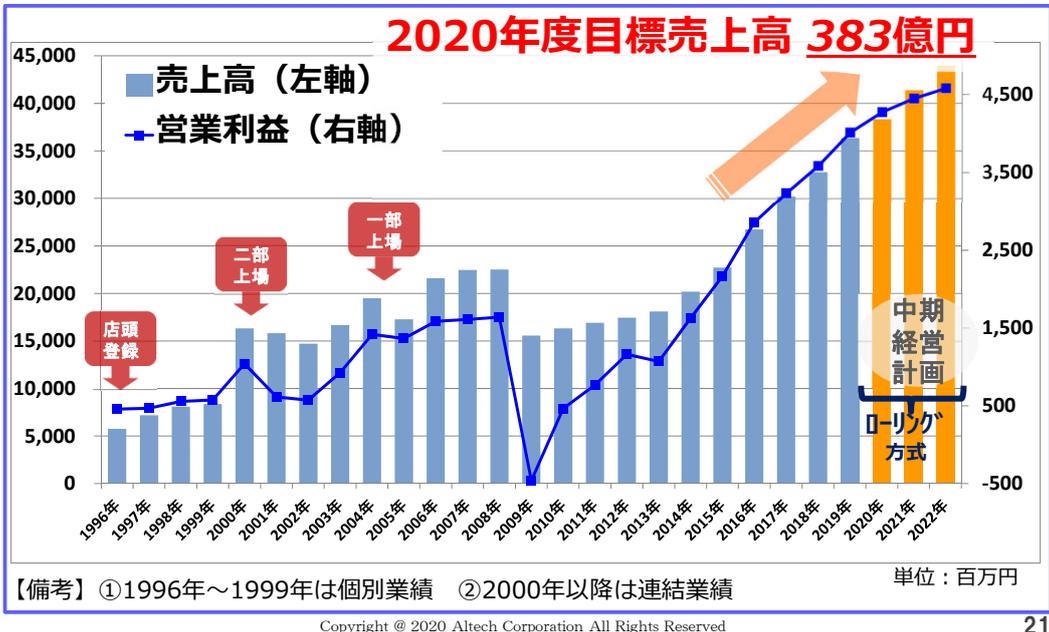
- ・2019年中間配当実績は1株35円、期末配当実績は38円でした。
- ・2019年7月1日に1:1.1の株式分割を実施しました。

・2020年配当について、上期は1株35円となります。また下期は35円を予想しております。』

■業績推移

増収・増益

第2創業期の礎作り着実に成長を達成



21

■業績推移

『続いて、「中期経営計画」(グラフオレンジ部分)について、ご説明いたします。

・当社グループは、ご覧のようにリーマンショック後業績がV字回復し、右肩上がりに持続的な成長を達成しております。

・2019年で6期連続最高業績を達成し、2020年～2022年の中期経営計画の達成に向けて邁進いたします。』

※当社では、創業50周年を機に、「第2創業期」として、新たな取り組みを推進しております。

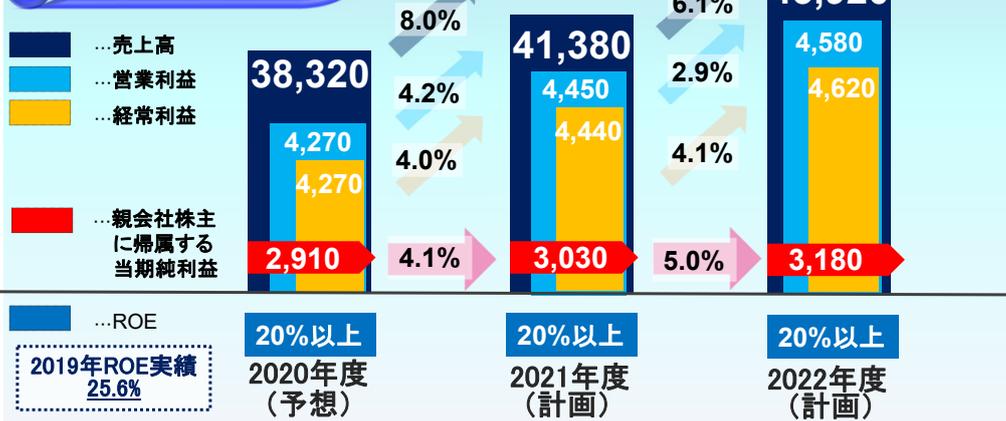
■ 新中期経営計画（連結・定量目標）

第11次5カ年計画（2023年迄にありたい姿）

定性目標: 新産業革命時代に向けた経営資源の再投資

3カ年毎のローリングプランを策定⇒持続的なイノベーション

売上高・利益計画



※2018年4月設立の新会社「(株)アグリ&ケア」の業績を含む。

Copyright © 2020 Altech Corporation All Rights Reserved

22

■ 中期経営計画（2020年～2022年）

『2月に公表した中期経営計画の「定量目標」は ご覧の通りです。第2創業期に入り、着実に目標を達成してまいります。』

■ 中期経営計画（連結）

各施策と主な内容

1

**アウトソーシング
市場における
持続可能な競争
優位性の創出**

■ 内容

- ①ドメイン再構築による
売上拡大と収益力向上
- ②グループ連携による多様な
採用活動の拡大
- ③グローバル人材の雇用拡大
・育成強化
- ④他社と差別化された
企業ブランディング実行

2

**投資の拡大による
成長の加速と
収益基盤の強化**

■ 内容

- ①農業・介護分野における
新たな市場創出
- ②次世代技術を軸とした
資本・業務提携推進

3

**事業環境の変化
に対応した
人材育成と組織
の最適化**

■ 内容

- ①ITシステム投資にて
高水準の業務効率実現
- ②シニアや女性、障がい者
が活躍する環境整備
- ③技術と経営視点を持った
未来志向の人材育成

【備考】 定性目標は第11次5ヵ年計画に基づき内容更新

Copyright © 2020 Altech Corporation All Rights Reserved

23

■ 中期経営計画（第11次5ヵ年計画の定性目標）

『第11次5ヵ年計画の定性目標策定に伴い、中計の定性目標を「新産業革命時代に向けた経営資源の再投資」とし、「3つの柱」はご覧の施策内容としております。』

■ サステナビリティ・ESGの取組み

ALPS×SDGs

SDGs推進企業として
外務省HPに掲載

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/case/org1.html>



ダイバーシティ

大勢の外国人社員が
活き活きと活躍



外国人社員向け料理研修



グローバルスピーチコンテスト

バリアフリー

2020年パリンピックに向け
バリアフリープロジェクトに協賛



Barrier-Free Work Environment



東京都「心のバリアフリー」サポート企業に登録

https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kiban/machizukuri/kokoro_support_files/01support.pdf

将来リスク

- 気候変動 ● 人手不足 ● 高齢化 ● 食糧問題 ● 感染症
- エネルギー・資源問題 ● プラスチック資源循環など

Copyright © 2020 Altech Corporation All Rights Reserved

24

■ サステナビリティ・ESG

『アルプス技研グループの「サステナビリティ、ESG」に関する取組みをご紹介します。』

<ALPS × SDGs>

SDGs推進企業として、外務省HPに掲載されています。ぜひご覧ください。

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/case/org1.html>

<ダイバーシティ> ・長年に渡り蓄積してきた外国人材育成ノウハウを活かし、外国の方々が安心して日本で働き、またお客様にも安心して受け入れて頂けるよう、事前に日本文化や日本語研修、生活サポートをきめ細かく行っている。

・また、先輩が後輩を育てる企業文化が根付いており、外国人社員の先輩がメンターとなって後輩の面倒を見る「ブラザーシスター体制」を敷き、会社として全面的にバックアップしている。日本で初めて一人暮らしをする人向けの買い物・料理研修や、日本人、外国人社員が共に取り組むスピーチコンテストなど、多くのイベントを開催している。

<バリアフリー>

・国内でのパラリンピック開催に向け、150人の障がいのある子供たちが大使館でプレゼンを行う「バリアフリープロジェクト」にも協賛している。

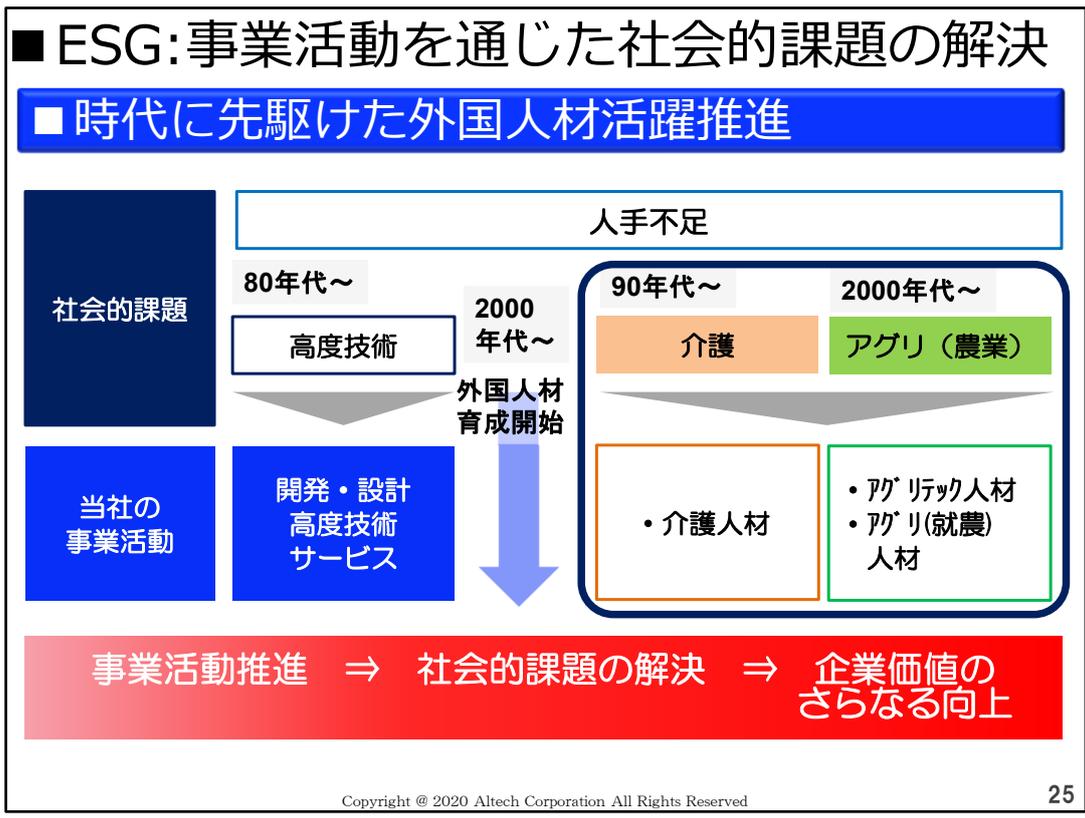
・2020年2月には、当社が東京都「心のバリアフリー」サポート企業に登録された。これは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、東京都が企業等と連

携し、心のバリアフリーに対する社会的気運の醸成を図るため、意識啓発等に取り組む企業等を「『心のバリアフリー』サポート企業」として登録するもの。

○東京都「心のバリアフリー」サポート企業 ホームページ

https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kiban/machizukuri/kokoro_support.files/01support.pdf

※オリンピック、パラリンピックに関する情報は、2020年7月31日時点の情報のため、今後変更可能性がございます。



■時代に先駆けた外国人材活躍推進

『最後に、当社が長年取り組んでいる「時代に先駆けた外国人材活躍推進」についてご紹介します。』

- ・当社グループは、時代に先駆け、人材サービスの提供を通じ、「人手不足」という日本の社会的課題の解決に取り組んできました。
- ・外国人材についても90年代からいち早く着目してきました。
- ・高度技術サービスの他、アグリ、介護分野でも積極的に人材育成や採用を推進いたします。

これからも事業活動の推進を通じて社会的課題の解決に貢献し、企業価値のさらなる向上を目指してまいります。』

(参考情報)

- ・2018年4月には、成長産業へと向かう農業関連分野、人手不足が顕著な介護関連分野に対し、人材派遣市場の新モデルを創出すべく、アグリ・介護関連の(株)アグリ&ケアを設立。
- ・同年8月には、当社が愛知県で全国第1号となる「特定機関」の認定を受け、他の国家戦略特区の京都府・新潟市・沖縄県でも認定。
- ・ベトナム、ミャンマー、中国のアグリテック、アグリ(就農)人材が入社し、多くの企業や農業法人、農家のお客様先で活躍中。

アルプス技研は、
引き続き積極的に
株主還元の充実を
図ってまいります。



【免責事項】

本資料に記載されている業績予想、将来予測等は、作成時点において入手可能な情報に基づく見通しであり、潜在的リスクや不確実性が内在しています。実際の業績は、経営環境や様々な要因の変化によって記述内容と大きく異なる可能性があります。

<当社公式キャラクター>

人が未来—Next Technology Frontier®

 Alps 株式会社アルプス技研



アルスくん

※「アルス」
…ラテン語で
「技術・才能」

Copyright © 2020 Altech Corporation All Rights Reserved

26

『アルプス技研グループは、引き続き積極的に株主還元の充実を図ってまいります。
今後ともどうぞよろしくお願い致します。』